



パイアル織物 DAYORI

令和5年1月吉日

第 37 号

發行者
株式会社明治

広報委員会
和歌山県橋本市高野口町名倉1067
TEL 0736-42-3113(代) FAX 0736-42-2054
E-mail : kisyuori@zeus.eonet.ne.jp
<http://www.koyaguchi.com>

長年当組合だけでなく当産地全体に多大なる貢献をして頂いた妙中清剛前理事長に深く感謝申し上げると共に、そこのご努力を無にせず、更なる発展を目指し、組合員各位と力を合わせ、関係機関のご支援を頂きながら前進していく所存でございます。

ではないでしょうか。我々企業側も知恵を出し合って、何とか最善策を尽くしてまいりますが、是非とも、国・県・市・また各関係機関の皆様方にも、この状況を乗り越えるための施策、知恵をお借り出来たら大変ありがとうございます。

反面、ここ数年猛威を振るった新型コロナウイルス感染症に関しては、個人の実感としてはあります。動きづらさやりづらさのようなものはこれまでほどは感じなくなつてしましました。当然油断は禁物であり、時期によって感染者数が増えたり減つたりという状況が続いているのですが、ここ

を開催したいと願っております。した。この度、三年ぶりに素材に触れて頂きながらお話をさせて頂けたことは、大変ありがとうございました。また画面越しではなく、直接当産地素材の魅力を発信することができた展示会であつたと感じます。

家として参画頂いた中小企業診断士の水城先生、皆様の物心両面による温かいご支援に心より感謝申し上げます。
さて、先述の通り、不安定な世界情勢による混沌とした経済状況が続いており、会社経営のかじ取りがより一層難しい状況となつております。事ここに至つては、それぞれ一社毎の頑張りだけで乗り越えることができないことが多々あるかと存じます。そのような状況であるからこそ、私といたしましては、前理事長から引き続き、組合員同士の情報共有、情報交換をより一層推進していきたいと考えております。一社では困難なことも、産地全体で知恵を出し合い、協力していくことで前に進んでいけるのではないかでしょうか。また、こういった問題は、当然我々機屋だけではなく、加工場さんや染工場さんのような関連業種にもいろいろな問題が生じていると考えられます。当産地は世界

新年あけましておめでとうございます。組合員各位には益々のご清栄のこととお慶び申し上げます。



新年のご挨拶

紀州織維工業協同組合
理事長 杉村 泰久

国のゼロコロナ政策等の影響による歴史的な物価高、そしてアメリカの金利引き上げによる円安が加速度的に進みました。これらは我々のような中小企業には特に大きな影響を与えております。原材料費、梶包運送費、電気・ガス等燃料費に至るまで、営業する上でかかる全ての費用が値上がりしているような状況で、組合

数年を通じてこの感染症との付き合い方が何となく社会全般としてわかつてきたのかなという印象です。このまま「口ナ前」の状態に戻るということは恐らく無いと思いますが、コロナ禍の中で発展した技術を活用しながら、少しずつ活動範囲を拡げ、一歩ずつではありますが、前進できる土壤にはなってきたのではないかと期待しております。各社が組合が、そして産地全体が一致団結して、この状況を好転させていくよう頑張っていきましょう。

月一日、二日に開催された「プレミアム・テキスタイル・ジャパン」においては、主催者である一般社団法人日本ファッション・ウイーク推進機構様のご尽力により、たくさんの方々が来場者があつたと伺っております。また、今年は日本の水際対策の緩和もあり、一部海外からのバイヤーも戻ってきており、当産地から出展した五社にとっても例年通り有意義な展示会となつたようです。

両展示会の開催・出展にあたっては、参加して頂いた組合員各位に感謝いたしますと共に、和歌山県企業振興課、伊都振興局、橋本市、和歌山県中小企業団体中央会、和歌山県工業技術センター、専門家として参画頂いた中小企業診断士の水城先生、皆様の物心両面による温かいご支援に心より感謝申し上げます。

さて、先述の通り、不安定な世界情勢による混沌とした経済状況が続いており、会社経営のかじ取りがより一層難しい状況となつております。その事ここに至つては、それぞれ一社毎の頑張りだけで乗り越えることができないことがあります。私もいたしましては、前理事長から引き続き、組合員同士の情報共有、情報交換をより一層推進していくたいと考えております。一社では困難なこともあります。でも、産地全体で知恵を出し合い、協力していくことで前に進んでいけるのではないかでしょうか。また、こういった問題は、当然我々機屋だけではなく、加工場さんや染工場さんのような関連業種にもいろいろな問題が生じていると考えられます。当産地は世界

で唯一のパイルファブリック
産地だと考えておりますが
そういうたつ関連業種の皆さん
がいないことには「産地」と
呼ぶことすらできなくなります。
是非とも皆様にもこういつた
認識を改めて持つていただき
き、「組合」だけでなく「産地」
全体で問題に立ち向かってい
く為の体制を、一緒に創り上げ
て頂きたく存じます。

最後に、組合員各位と、当
産地をお支え頂いています全
ての皆様のご健勝を心よりお
祈りいたしますと共に、今年
も紀州繊維工業協同組合にご
支援、ご協力頂きますよう心
よりお願い申し上げ、新年の
ご挨拶とさせていただきます。

新年あけましておめでとうございます。



妙中 高田 中野 中矢 野上 原田 山下 米阪 佳久
正司 和實 真行 祥久 典一 晋平 慎二
監事 曾和 寛 中西 謙次

糸州織維工業協同組合と工業技術センター

和歌山県工業技術センター
地域資源活用部

部長 横本 武志



新年あけましておめでとうございます。

新年あけましておめでとうございます。紀州繊維工業協同組合並びに組合員の皆様におかれましては、平素から南都銀行にご支援・ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年二〇二一年は、長引くコロナウイルス感染症の影響やロシアウクライナ関係からの物価上昇、世界各國の金利情勢に伴い為替相場が大きく変動するなど、対応に苦慮されることの多い一年であったと思います。本年は少し落ち着きを取り戻すことができる一年となりますよう期待

していよいよ始めてござります。
さて、ここ数年「サステナブル、サステナビリティ」といった言葉をよく耳にされていると思います。二〇一五年のSDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) の国連採択から取組が活発になってきてます。若者世代を中心に、サステナブルな取組への関心が高まっており、また、世界各国で同様な取組が行われるようになってきたことで、ステナビリティに取り組むことが企業の経営基盤を強固にして、新しい市場・取引を開拓する機会を生み出すことにつながる可能性もあります。逆に、こうした取り組みを行わないでビジネスを展開することは、大企業だけではなく中小企業においてもリスクとなる可能性が出てきます。このような考え方は、近江商人の心得「三方よし（売り手と買手がともに満足し、また社会貢献もできるのが良い商売）」

す。また、今まで以上に女性が働きやすい環境整備や女性のキャリア支援が課題となつてくることから、「5. ジエンダー平等を実現しよう」「8. 働きがいも経済成長も」などを目標に掲げるのもよいと思いますし、繊維製品の製造という立場からは、技術力の進歩や若手への技術の承継、原材料等へのこだわりや残糸・残反の有効活用問題などから「9. 産業と技術革新の基盤をつくろう」「12. つくる責任 つかう責任」なども良いのではないかでしょうか。

ちなみに当行では17の「ゴール」のうち、上記「8」「9」「12」とび「4. 質の高い教育をみんなに」「11. 住み続けられるまちづくりを」「13. 気候変動に具体的な対策を」「15. 陸の豊かさも守ろう」の七つを重点取組目標として選出し、達成に向けて取組んでいます。また、法人・個人事業主のお客様向けに「ナント」SDGs導入コンサルティングサービス」をご準備させて頂いておりますので、ご相談頂ければ幸いです。



高野口パイルファブリック展 —ふわふわ18—



宋行委員長 廿四 義隆

昨年から産地単独展示会の実行委員長を仰せつかっております井脇です。前実行委員長の杉村氏から引き続き、精一杯取り組んでまいりますのでよろしくおわがします。

さて、令和4年10月12日(水)から14日(金)の3日間、18回目となる産地単独展示会「高野口パイルファブリック展—ふわふわ18—」が、東京・両国の国際ファッションセンタービル内にある「KFC Hall Annex」において開催されます。

令和2年及び3年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でオンライン開催となっていたことから、3年ぶりの東京での展示会となり、3日間で162社、282名の来場がありました。

163社、283名の来場がありました。
参加企業は、青野パイアル(株)、井脇織物(株)、(株)岡田織物、杉村織維工業(株)、
妙中パイアル織物(株)、(株)日本ハイパイアル、野上織物(株)、原田織物(株)、松岡織
物(株)、ヤマシタパイアル(有)の10社であり、各社それぞれの特徴を十分に発信
しました。展示会を行って上げてきました。

した展示会を行つことができました。今後もこのような機会を活用し、販路開拓、情報収集を行い、出展各社が参加する「意義」のある、また来場者の皆様にとって「価値」のある展示会を、一丸となって作り上げていきたいと思っておりますので、引き続きご協力の程よろしくお願い申しあげます。

協力の程よろしくお願い申し上げます。
最後になりましたが、本展示会を開催するにあたり多大なるご協力とご

尽力を頂きました関係各位に厚くお礼申し上げます。

[View Details](#) | [Edit](#) | [Delete](#)

合と工業技術センター

同で実施してきており、高野口産地企業の方々と当センターの技術交流が盛んであったことが伺えます。また、工業試験場から工業技術センターへと再編された時期に、貴組合が当時の先端技術を活用して取り組まれた技術を活用して取り組まれた再織の機械化及び量産化をサポートさせていただいたことはまさに「中小企業の研究開発支援機関」という再編の趣旨を体現した成果のひとつです。

現在、貴組合におかれましては、「国内唯一」の総合パイルファブリック産地として、新しい付加価値と価値観を持ったテキスタイルの発信を行い、衣料用、インテリア用、寝装用、車両用などの幅広い分野へ優れた技術・高い品質のパイルファブリック製品を提案され、高い評価を得られています。特に、各企業様が、特色のある技術を活用することで、新たな資材分野（電子産業用、環境対応用、医療・福祉用

への取組

していふところでござります。

さて、ここ数年「サステナブル、サステナビリティ」といった言葉をよく耳にされていると思います。二〇一五年のSDGs（Sustainable Development Goals：持続可能な開発目標）の国連採択から取組が活発になつてきています。若者世代を

るようになつてきたことで、サステナビリティに取り組むことの関心が高まつており、また、世界各国で同様な取組が行われるようになつてきました。サステナブル、サステナビリティが企業の経営基盤を強固にし、新しい市場・取引を開拓する機会を生みだすことにつながる可能性もあります。逆に、こうした取り組みを行わないでビジネスを展開することは、大企業だけではなく中小企業においてもリスクとなる可能性が出てきます。このような考え方は、近江商人の心得「三方よし（売り手と買手がともに満足し、また社会貢献もできるのが良い商売）」

等)や高度な意匠・系分野(再織工コフラー)で、重要な地位を築かれていると言えます。

工業技術センターにおきましても、皆様による新たな開発をサポートすべく、平成三〇年度にオープンラボ「レザーアンドテキスタイルラボ」を整備いたしました。このラボを活用して、パイルファブリックを用いた排水処理技術の高効率化・高機能性繊維を用いた新規医療・福祉用マットの開発・加工によるパイルファブリックの新たなる機能性の発現、寝装用パイルファブリック開発に伴う温熱特性評価など製品の開発や品質管理の高度化に関する技術的支援を行っています。また、企業技術者の若手人材育成支援として和歌山県繊維協会が主催する「繊維産業勉強会」では、センター研究員による繊維・プラスチック材料の基礎に関する講義を行っており貴組合所属の企業様にも受講いただいております。繊維産業勉強会以外では、センター独自の研究会・勉強会等を開催し、繊維

The image displays the 17 Sustainable Development Goals (SDGs) as defined by the United Nations. Each goal is represented by a unique icon and a corresponding number and title:

- 1 経済発展を実現する
Sustainable Development
- 2 貧困をなくす
No Poverty
- 3 健康と福祉を確保する
Good Health and Well-being
- 4 知識の高い社会を実現する
Quality Education
- 5 ジンジン平等を実現しよう
Gender Equality
- 6 積極的な持続可能な開発目標を実現する
Clean Water and Sanitation
- 7 みんなで地球を守る
Affordable and Clean Energy
- 8 繁栄のための雇用と経済成長を実現する
Decent Work and Economic Growth
- 9 住み続けられるまちづくりを
Industry, Innovation and Infrastructure
- 10 入れ墨と公平な取引を実現する
Reduced Inequalities
- 11 住み続けられるまちづくりを
Sustainable Cities and Communities
- 12 稀少な資源をつかう責任ある方法で資源を活用する
Responsible Consumption and Production
- 13 みんなで気候変動に取り組もう
Climate Action
- 14 海洋汚染をなくす
Life Below Water
- 15 地域社会を守る
Life on Land
- 16 平等と公正な規則をすべての人々に
Peace, Justice and Strong Institutions
- 17 パートナーシップで目標を達成しよう
Partnerships for the Goals

ロパイル産地

る懸念もあります。

そのような環境の下、事業の皆さまにおかれましては各コストの適切な販売価格への嫁が一層重要な経営課題ともしていることと存じます。商工金が昨年五月に行つたアンケート調査では、販売価格転嫁の状況についてお伺いしました。

維関連のお取引先の回答を抽してみると、調査時点で価格転嫁を実施している比率は約四割と、多半のお取引先が多少なりとも価格転嫁を行うことが起きている一方、「コストアップ分の七割以上を転嫁できる先は」先まで展望しても四割に満たず、適正な収益確保に向けて採算把握や販売先との価格交渉が重要な状況です。

価格交渉を進めるうえで、製品・サービスの付加価値向上や差別化が重要なポイントとなります。昨年のアンケート調査によると、繊維業のうち、五超のお取引先が設備投資を予しており、最も多いものは「合理化・省人化」(約四割)で、業務合理化による付加価値の向

実行委員長 井脇 義隆

昨年から産地単独展示会の実行委員長を仰せつかっております井脇です。前実行委員長の杉村氏から引き続き、精一杯取り組んでまいりますのでよ

前回より実施した「新規事業開拓セミナー」の開催結果について、以下にまとめます。

さて、令和4年10月12日(水)から14日(金)の3日間、18回目となる産地単独展示会「高野口パイルファブリック展—پوپوپا 18—」が、東京・両国 の国際ファッションセンタービル内にある「KFC Hall Annex」において開催されました。

令和2年及び3年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でオンライン開催となっていたことから、3年ぶりの東京での展示会となり、3日間で163社、283名の来場がありました。

さて、令和4年10月12日(水)から14日(金)の3日間、18回目となる産地単独展示会「高野口パイルファブリック展—پوپوپا 18—」が、東京・両国 の国際ファッションセンタービル内にある「KFC Hall Annex」において開催されました。

令和2年及び3年は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響でオンライン開催となっていたことから、3年ぶりの東京での展示会となり、3日間で163社、283名の来場がありました。

新規事業等の別化による取り組みを進めています。
一方で、中小企業が発展していくためには、個社で困難な課題を組合員が相互に助け合いつつ解決していく組合の役割がますます重要になつてまいります。そしてその機能が最大限發揮されるためにも、組合員の皆さまのお取り組みに、私ども商工中金がしっかりと連携させていただきお役に立つていくことが大切と考えております。

今後も商工中金は、組合の中央金庫であるという原点に、株主でもあります組合および組合員の皆さまに対し、様々なリユースションを提供してまいります。

皆さまからの期待に応えらるるよう役職員一丸となって取り組んでまいりますので、引き続き格別のご支援とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、紀州織維工業協同組合並びに組合員の皆さまが今後益々のご発展を心からお祈りいたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。



一般社団法人日本ファッショングループ推進機構が主催するテキスタイル・ビジネス商談会、Premium Textile Japan 2023 Autumn/Winter (PTJ) と織維総合見本市JFW JAPAN CREATION (JC) が2022年11月1日(火)・2日(水) 東京国際フォーラム ホールEにおいて同時開催されました。

今回の出展者は、PTJが72件/103小間、JFW-JCが54件198.9小間で、出展件数・小間数ともに前年実績を上回りました。

当組合からは、高野口パイルファブリックとして青野パイル(株)・妙中パイル織物(株)・中野メリヤス工業(株)・(株)日本ハイパイル・ヤマシタパイル(有)の5社が出展しました。

2日間の会期中では、海外からの来場者も散見され、また個人的には、昨年は閉鎖さ

Premium Textile Japan 2023 Autumn/Winter

れていました喫煙ゾーンが今年は開放されており、来場者および会場の雰囲気も新型コロナウイルス感染症の閉塞感から徐々に開放されてきていることを実感できました。

また今年のPTJの開催時期が、高野口パイルファブリック展一ぶわぶわ18ーの3週間後と近いこともあり、高野口パイルファブリック展に来場いただいた方がPTJにも来場いただき、更に掘り下げる商談をすることができました。その後着分依頼また試作依頼に繋がり、高野口パイルファブリック展とPTJの2つの展示会の相乗効果を実感しました。

また今年もトレンドの一つとして「トレンド&インデックスコーナー」の一角に設けられたサスティナブル・テキスタイルコーナーがあり、サスティナブル素材原料・製造プロセス・企業認証の3カテゴリー・7つの詳細分類に分けて紹介するとともに、解説パネルを掲示するなどの工夫が凝らされていました。

当組合ブースでもオーガニックコットンやリサイクルポリエチレンなどを使ったサステナブル素材が展示されていました。

2日間の会期での来場者数は、約11,000名(執筆時点での主催者発表)(昨年実績11,387名)、当組合のサンプルオーダー件数227件/970点(昨年実績233件/987点)であり、コロナ禍ではありますが、満足のいく展示会となりました。

最後に、展示会出展にあたり関係各位ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

ちょっと ひといき



「NO AIパイル」 安部 光弘

時代の流れがどんどん早くなっている気がします。この何年かの動きは特に激しい。人もウイルスも世界の争いも。だからなのか、人のやっている仕事の約半分がこの20年近くでAI(人工知能)に変わったらしい。半分の人が失業する。ちょっと大げな気もしますが。

また年初から原油高による電力エネルギー価格の上昇、世界市場に比べ日本の株価も弱くて大変です。貢上げムードも

薄い。そんな中、若者に射幸心を煽るような情報もうんざります。

非道なウクライナ問題があり、エネルギー関連から世界的な物不足・物価高も起きた。景気回復を目指して政府が回復企業に貸上げ要求を叫んでも、各業界の環境はなかなか厳しい現状です。

こんな中私たちの使う材料ほとんどが値上げです。主要なパイル原料である石油由来の合織は当然としても、天然織維の綿、羊毛までも。地元の加工費・梱包資材も当然上がります。原価積み上げを考えると生地にそのコストを転嫁しなければ、この産地も生きてはいけません。

我々の作り出す生地は、広くみんなにお買い上げいただくものです。大きさに言えば国民みんなが喜ぶ生地を作り出したい。あつたかい生地、気持ちのいい生地、なでなでしたくなる生地、ほっぺすりすりしたくなる生地。付加価値というか肌触り価値の創造拡大でしょうか。

生地を値上げするという発想じゃなく。新しくできた商品に新しい値段をつけてお届けする。産地も問屋さんも小売もお客様も喜ぶ、楽しくなる生地。

アパレルサイドも考えています。原価を下げて大量に作るのじゃなくて、原価に投資するモノづくりの新たな方向性、在

庫の発想はSDG'sとは真逆、そんな時代に変わってきています。それに応えて開発力を上げていく、目を見張る美しいパイルを作ろう。そんなものが簡単にできれば世話がないですが、私たちは一心にそこに向かうときなのです。

集中する大人はかっこいい。大人が子供に帰るので。ほかのことには耳を貸さず企画に集中する人間に、他人を攻撃する余裕も気持ちも起こりません。企画し夢見る心は世界平和なのです。

即席ラーメンの父、安藤百福は言いました。「仕事を戯(たわむ)れ化せよ」仕事は、本質を楽しむことです。やらされている仕事は誰だって楽しくない。だからこちらからやってやる、いや気が付いてたらやっていた。なんて幸せなことでしょう。

パイルの産地高野口は一所懸命です。懸命楽しんでいたら仕事になった。こんな夢見心地な人生を歩みたいものです。

AIに生地の開拓なんてできない。幸せの感情をAIは持たない。AIは楽しめない。私たち人間の仕事は永遠に不滅、のはずです。

安藤百福さんもきっと夢中に楽しく時間をかけて、気が付けばチキンラーメンを作り出したことでしょう。AI知能は美味しいラーメンの分析はできても、きっとハッピーなラーメンは作れないから。



■十一日(水)～十四日(金)
高野口パイルファブリック展
一ぶわぶわ18ー開催
リアル展示会としては三年ぶりとなる産地単独展示会を東京・両国のKFC Hall Annexにおいて開催した。



■十四日(火)
令和四年度通常総会
全議案原案通り可決し、新理事長に杉村泰久氏が就任する。杉村泰久氏が就任する。

六月

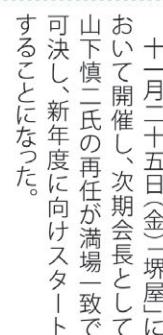
主なイベント



■一日(火)～二日(水)
プレミアム・テキスタイル・ジャパン2023 A/W出展
於 東京国際フォーラム



二十五日(火)～二十六日(水)
ビジネススマッチングフォーラム
せんば適塾と大阪商工会議所が主催するビジネススマッチングフォーラムV.O.・11に当組合メンバーの妙中パイル織物(株)・日本ハイパイルが参加した。



■十一月
ノバティながの「秋まつり」
展示販売
於 ノバティながの



四月二十一日(木)「のぶ」において開催され、令和四年度の事業計画、予算案について諮り、全議案原案通り可決した。

令和四年度通常総会

青年部会活動報告



令和4年展示会概要	
高野口パイルファブリック展 一ぶわぶわ18ー	プレミアム・テキスタイル・ジャパン2023A/W
開催地 東京・両国 KFC Hall Annex	開催地 東京・有楽町 国際フォーラム
期間 10月12日～14日	期間 11月1日・2日
来場者数 283人	来場者数 約11,000人
出展組合員数 10社	サンプルオーダー数 248件/1,444点
	サンプルオーダー数 227件/970点